

マスコットキャラクター

『ふくまる』

2023年
3月号

地域とあなたと私を結ぶ定期便

Vol.63

ふく✕おすび

発行元:公益財団法人復康会 社会復帰事業部

〒410-0811 沼津市中瀬町17番11号 TEL 055-931-0510 FAX 055-934-1697

サポートセンターいとう 20周年記念

令和5年2月9日当センターの20周年記念イベントを開催しました。コロナ禍もありささやかな開催でしたが、当日は20名以上の方がお祝いに駆けつけてくれました。この日のために利用者、職員で飾りを作ったり、思い出の写真を選び掲示したり、記念品の準備等当日ギリギリまで大忙し。参加された方々と昔話に花を咲かせ、あっという間のひと時でした。20周年という節目に携われて嬉しく思います。



センターへの思い出集



記念品の品。協力いただいた施設の皆様
ありがとうございます。



令和5年度にサポートセンターいとうは20周年を迎えます。平成15年に伊東市に開所してから今日に至るまで利用者の皆様や地域の関係機関の皆様の支えもあり、熱海市、伊東市に根差した活動を続けてこられたことを、この場を借りて御礼申し上げます。来年度からも「温故知新」の気持ちでこれまでのセンターの良さを大事にしながら、時代の変化に対応した地域活動支援事業、相談支援事業を展開していきたいと思ひます。

センター長 秋津崇史



ゆめワーク

2/7(火)、八王子市から創価大学文学部の先生、学生総勢 25 名が事業所見学で来所されました。当法人ホームページにて「フレッシュベーカーゆめワーク」の活動に興味を抱いた学生が企画され、コロナ禍で2年越しの実現となりました。社会福祉士を目指す学生たちは熱心に館内を見学し、スタッフに色々と質問していました。お土産にゆめワークパンを沢山お買い上げ頂きました。ありがとうございました！ (小山 千菜美)



↑ スタッフに質問しながらパンを購入してくれる学生さん



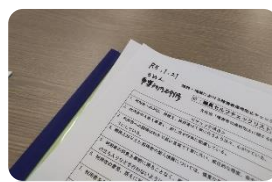
ワークショップ まごころ

暦の上では立春を迎え、春に向かっていく季節になりましたが、まごころは箱根に近い山間部のため、2月に入っても雪の降る日があります。時には送迎車に降り積もった雪の除雪や、畑に植えた野菜の周りの除雪を行います。利用者さんは、なかなか見る事のない雪に感動しながら、楽しく作業に取り組んでいます。(上柳 光)



かのん

1/21(土)「障害者虐待防止・権利擁護」についての職員研修を行いました。事例を見ながら、どのように対応するのが良かったか検討し、施設で虐待が起きる理由やどこでも虐待の芽は生まれること、不適切対応から虐待に繋がっていくことを学びました。温かな支援をするためには、職員自身の幸せが大切ということなので、研修を生かして職員の笑顔と風通しのよい職場を作っていきたいです。(本田 幸江)



コーポ狩野

1/26(木)「嘔吐物の処理方法」について勉強会を行いました。座学だけでなく、スタッフがペアとなり嘔吐物を片付ける担当、物品を準備する担当との役割を分担して実技を行いました。実際に行くと理解も深まります。作業手順の抜けがあったり、どうしたら手際よく出来るか考えてみたり、反省点もいくつか見つかりました。コーポでは一人体制の勤務もあります。どのような状態でも冷静に対応できるよう、繰り返しの実習の必要性を感じました。(笹原 菜穂子)



なかせ



この1年は研修会の講師を務めることが頻回にあり、ピアサポート活動の普及啓発をすることが多かったと感じました。私達ピアスタッフがピアサポート活動に興味を持った頃は、ピアサポート活動を周囲の方々に理解してもらうことは中々難しい時もありました。

それを考えると、今は行政・福祉・医療の中でもピアサポート活動への認識が生まれ始めている感触があります。ピアサポーターと専門職の協働が目指されています。これはそれぞれの所属先にも関わってくることです。研修会の講師をしていてその達成感を感じることができ、私達も学びになりました。

(石川・山崎)



ひまり



2/21(火)、基幹相談支援センターと地域包括支援センターが企画する『包括連絡会』が開催されました。包括連絡会は今年度3回目の開催となり、今回も相談支援事業所、地域包括支援センターから多くの方が参加されました。今回は地域包括支援センターから8050世帯の事例提供をしていただき、事例を通して相互理解を深めるためのグループワークを行いました。グループワークの中で、ヘルパーを申請するにしても介護分野と障害分野では申請の流れが違ふこと、お互いに知らなかった制度利用の進め方などを知ることができ、活発な意見交換を行うことができました。

このような機会を来年度も引き続き開催することで、お互いを知り協力できる体制作りを努めていきたいと思ひます。

(伊藤田恵子)



いとう

令和5年度より20周年の節目を迎えるにあたり、この度事業所名をリニューアルすることと致しました。利用者からも募集をいただく中で最終的に「サポートセンターりりぶ」に決定しました！ちなみにrelieve(リリーブ)から命名しました。リリーブの意味は「苦痛・不安・心配などを取り除くこと。安心させること。ほっとさせること」のようです。今後のセンターに期待する願ひと受け取りました。

(秋津 崇史)

令和5年4月より
「サポートセンター
りりぶ」になります！

お知らせ



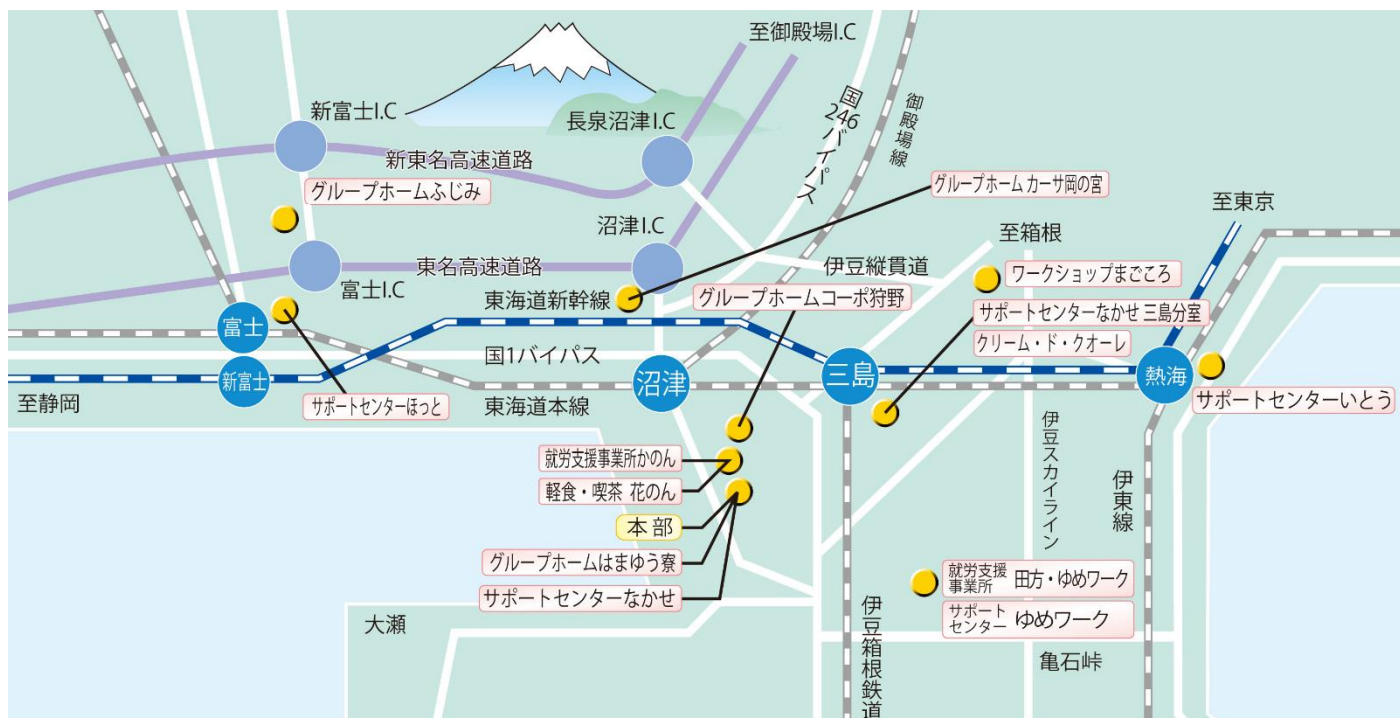
ほっと



2/18(土) グループホームふじみで消防訓練を行いました。火事発生を知らせたり、119番通報をしたり、消火器の使い方、避難場所などの確認をしたりしました。利用者からは、実際の時は慌てると思うので、落ち着いて訓練を役立てたい、「消火器の使い方が分かってよかった」などの感想が聞かれました。

(長谷川 真美)

社会復帰事業部施設MAP



サポートセンターなかせ 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680

サポートセンターいとう 熱海市田原本町9-1 熱海第一ビル2F TEL0557-82-5680

サポートセンターゆめワーク 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

サポートセンターほっと 富士市日乃出町165-1 サンミック静岡ビル104 TEL0545-32-8160

サポートセンターひまり 三島市一番町7-19 高野ビル4F TEL055-991-1180

グループホームカーサ岡の宮 沼津市岡宮612番1号 TEL055-935-5680
(サポートセンターなかせ)

グループホームはまゆう寮 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680
(サポートセンターなかせ)

グループホームふじみ 富士市厚原1138-6 ムーンビームス TEL0545-32-8160
(サポートセンターほっと)

グループホームコーポ狩野 沼津市中瀬町24番1号 TEL055-933-1038

就労支援事業所かのん 沼津市中瀬町19-20 TEL055-933-8500
(軽食・喫茶花のん) 沼津市中瀬町18-28 TEL055-933-8502

ワークショップまごころ 三島市字エビノ木4745-456 TEL055-985-2666
(クリーム・ド・クオーレ/作業所) 三島市一番町7-19高野ビル1F/2F TEL055-976-9000

就労支援事業所田方・ゆめワーク 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

編集後記

3月13日からマスクの着用が個人の判断に委ねられますが、人の目が気になる、マスクに慣れてしまった等で外さないという声も多く聞かれます。良きにつけ悪きにつけ「右へ倣え」の日本人・・・
どうする!?

ふくむすび編集部